

## 共に学び合い、友から学び、英語の力を高めよう！

これからは、日本国内にしながら、外国の人たちと共生する社会がやってくると言われています。将来、みなさんの職場の同僚やお客さんの中に、外国の方がいるということも多いと思います。作ったものをより多くの人に買ってほしいと考えたときに、外国人の目にも留まるように工夫することも求められるでしょう。そんなときの一つの道具として、英語の勉強に力を入れておくと、将来きっと役立つと思います。今回は、東中生の授業で見られた姿や家庭学習の様子から、参考になる姿を紹介します。

こちらは、1年生の授業で“My favorite person”をテーマにして会話をしている場面のひとコマです。友達とやり取りしながら力を高めていく様子が見られましたので、紹介したいと思います。

**Bさんのヒントをもとに、繰り返して言い直しているAさんの素直な学び方も素敵です。このあとに別のペアの友達と同じやり取りをしたとき、Bさんは正しく言っていました！**

Aさん

My favorite person is OO.

Why do you like him?

Bさん

Because he cool.

“He is …”

He is cool !

Oh, I see !

ここでのBさん。「Because he is cool.だよ!」と全てを言ってしまうことなく、より正しく伝わる表現に気づかせてくれるようなヒントを呟いていて、「すごい!」と感じた場面でした。

ここでは、より正しく言えるようになり成長していく姿を紹介しましたが、会話では、正確な言葉や文法を使う以上に、「積極的に会話をしよう」「自分の思いを伝えよう」「相手の話をしっかり聴こう」とすることが大切です。やり取りは、一人で行うものではありません。相手がいて成立するものです。上記の2人は、相手の発言に耳を傾けてリアクションをしながら、笑顔で会話を進めていました。その中で見られたのが上の場面でした。みなさんにも、2人のようにやり取りを楽しんでほしいと思います。

### 自主学習への取組より

このページの問題を解くのに掛かった「時間」が書いてあります。回を追うごとに時間が短くなっていて、自信に繋がりますね！

1回目に間違えたところに、『✓マーク』がついています。2回目以降は、✓の問題を中心に、繰り返し取り組めると、弱点克服に繋がります！

大切なフレーズを、ふせんに書いて整理しています。ノートを開くたびに何度も見返すと、とても効果的です！

答え合わせをして終わり…ではなく、1度解いて間違えた問題の「気をつけるべきポイント」を書いています。

# 年末年始休業中の学習

明日から13日間の年末年始休業中になります。休み中の学習は、お子様が学習に向かうまでがなかなか大変です。そこで、次のような点をご家庭で参考にしてみてください。

## 【年末年始休業中の学習を充実させるために】

### まずは生活リズムを整えましょう！

- 就寝時刻、起床時刻は学校がある日と同じにしましょう。
- 起床後、1時間以内に着替えましょう。
- 学習時間をお子様と相談して決めましょう。



### 学習は計画的に！

- まずは各教科から出されている課題に取り組みましょう。
- 苦手な教科の復習の時間も確保しましょう。
- 家族で過ごす時間も大切です。「勉強する時間」、「勉強しない時間」をはっきりさせておきましょう。
- 1教科1時間と区切ると計画を立てやすくなります。

1, 2年生は、1日に2教科か3教科に取り組むと良いでしょう。

- 学習方法に悩む場合は、年度当初に配布した「自学の手引き」をご覧ください。
- 3年生で冬期講習に通う人は、有効に活用しましょう。

講習では、塾の先生の力があって「理解できた！」と思うかも

しませんが、大切なのはそこからです。「自力」で問題を解くことができるかしっかり確かめましょう。

例) 年末に各教科の課題を完了  
→ 年始は苦手科目の学習



### 学習環境にもひと工夫！

- 当然ですが、自宅は心が休まる場所で、学習以外の誘惑が多い場所です。学習する場所からはスマホ、マンガ等は遠ざけておきましょう。
- 自宅だとどうしても誘惑に負けてしまう場合は場所を変えてみましょう。図書館、塾の自習室などに出かけるだけで勉強スイッチが ON になることもあります。

スマホを卓上に置いて計算問題を解くグループ(A グループ)と、卓上に置かないで計算問題を解くグループ(B グループ)を比較した際、A グループは B グループに比べて、解答数が少なく、誤答が多かったという研究もあります。